

# チェアー回路基板のテストポイントに関するリファレンス



テストポイントと機能のリストについては、お使いの製品の回路基板のページをご覧ください。トラブルシューティング、サービス、パーツの識別、保守などの追加情報については、関連するA-decサービスガイドまたはサービスリファレンスを参照してください。A-dec補足資料の現在のリビジョンは、[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com)のドキュメントライブラリから入手できます。



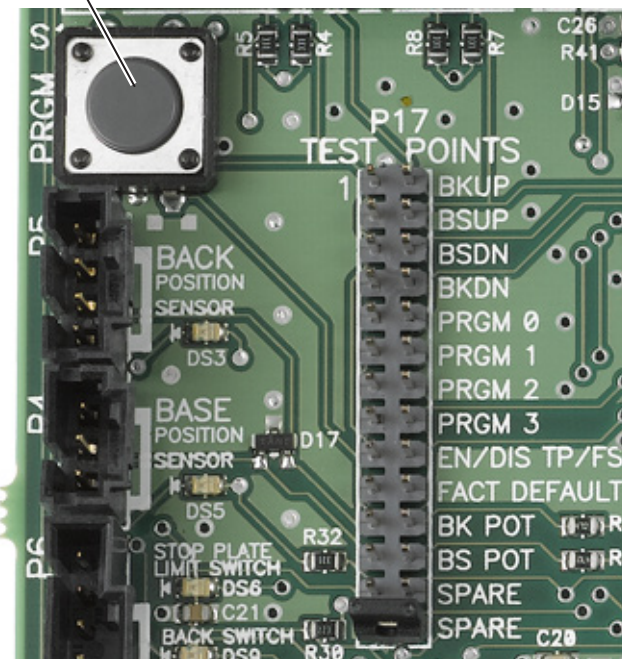
**注意** 回路基板は静電気による損傷を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電(ESD)対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず、電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

<b>A-dec 200、Performer、Decade、Cascadeチェアー回路基板</b> .....	<b>2</b>
<b>A-dec 311/411チェアー回路基板</b> .....	<b>3</b>
<b>A-dec 511チェアー回路基板</b> .....	<b>4</b>

## A-dec 200、Performer、Decade、Cascadeチェア回路基板

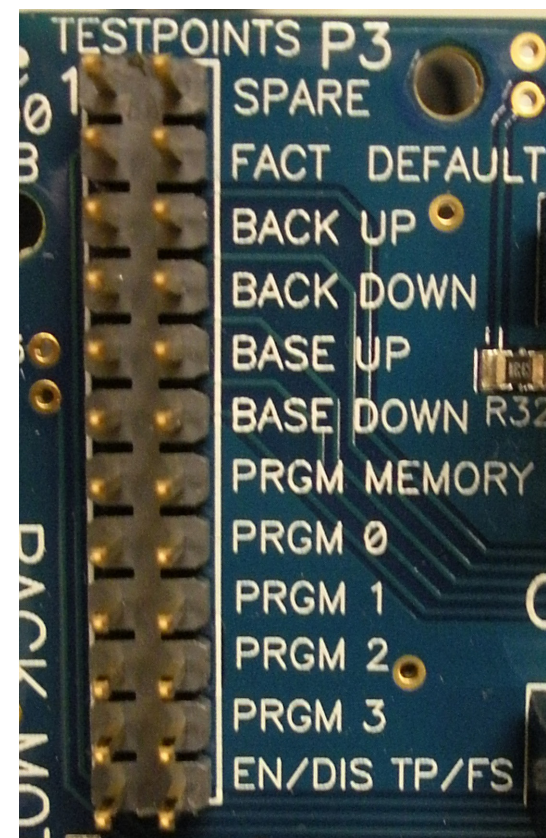
- **BKUP** - チェアの背もたれを上げます。
- **BSUP** - チェアのベースを上げます。
- **BSDN** - チェアのベースを下げます。
- **BKDN** - チェアの背もたれを下げます。
- **PRGM (ボタン)** - チェアのポジションをプログラムするには、チェアのポジションを設定してこのボタンを押します。ビープ音が1回鳴るので、3秒以内にPRGMポジションのいずれかにジャンパーを設置します。ポジションが設定されるとビープ音が3回鳴ります。
- **PRGM 0** - チェアのポジションを0にプリセットします。通常は治療の開始と終了時に使用します。
- **PRGM 1** - チェアのポジションを1にプリセットします。通常は仰臥位にするために使用します。
- **PRGM 2** - チェアのポジションを2にプリセットします。通常は仰臥位にするために使用します。
- **PRGM 3** - チェアのポジションを3にプリセットします。通常は背もたれをX線/洗浄ポジションに動かすときに使用します。ジャンパーを取り外して交換し、チェアを元の位置に戻します。
- **EN/DIS TP/FS** - 注: このポジションは、2005年6月より前に製造された基板では機能しません。プログラムとプリセットのタッチパッドまたはフットスイッチ用ボタンをオン/オフにするには、ジャンパーをこのポジションに配置し、ボタンを押し続けてオン/オフにします。ボタンがオンになると、ビープ音が3回鳴ります。ボタンがオフになると、ビープ音が1回鳴ります。
- **FACT DEFAULT** - チェアのプリセットを初期設定に戻します。
- **BK POT** - 背板ポジションのポテンシオメーターの電圧を確認するには、電圧計のプラスのリード線をBK POTテストポイントの左側のピンに配置し、マイナスのリード線をSPAREテストポイントの左側のピンに配置します。
- **BS POT** - ベースポジションのポテンシオメーターの電圧を確認するには、電圧計のプラスのリード線をBS POTテストポイントの左側のピンに配置し、マイナスのリード線をSPAREテストポイントの左側のピンに配置します。
- **SPARE** - ジャンパーストレージの非アクティブポジション。
- **SPARE** - ジャンパーストレージの非アクティブポジション。

PRGMボタン



## A-dec 311/411チェア回路基板

- **SPARE** - ジャンパーストレージの非アクティブポジション。
- **FACT DEFAULT** - チェアのプリセットを初期設定に戻します。
- **BACK UP** - チェアの背もたれを上げます。
- **BACK DOWN** - チェアの背もたれを下げます。
- **BASE UP** - チェアのベースを上げます。
- **BASE DOWN** - チェアのベースを下げます。
- **PRGM MEMORY** - チェアのポジションをプログラムするには、チェアのポジションを設定してジャンパーをこのポジションに配置します。ビープ音が1回鳴るので、PRGMポジションのいずれかにジャンパーを設置します。ポジションが設定されるとビープ音が3回鳴ります。
- **PRGM 0** - チェアのポジションを0にプリセットします。通常は治療の開始と終了時に使用します。
- **PRGM 1** - チェアのポジションを1にプリセットします。通常は仰臥位にするために使用します。
- **PRGM 2** - チェアのポジションを2にプリセットします。通常は仰臥位にするために使用します。
- **PRGM 3** - チェアのポジションを3にプリセットします。通常は背もたれをX線/洗浄ポジションに動かすときに使用します。ジャンパーを取り外して交換し、チェアを元の位置に戻します。
- **EN/DIS TP/FS** - 注:このポジションは、2005年6月より前に製造された基板では機能しません。プログラムとプリセットのタッチパッドまたはフットスイッチ用ボタンをオン/オフにしたり、ソフトベースリミットを管理したりするために使用します。
  - **オン/オフボタン** - ジャンパーをこのポジションに配置し、タッチパッドまたはフットスイッチ用ボタンを押し続けてオン/オフにします。ボタンがオンになると、ビープ音が3回鳴ります。ボタンがオフになると、ビープ音が1回鳴ります。
  - **ソフトベースリミットの設定** - チェアのポジションを設定し、ジャンパーをこのポジションに配置して、ビープ音が3回鳴るまでBASE UPまたはBASE DOWNを押し続けます。
  - **ソフトベースリミットの削除** - ジャンパーをこのポジションに配置して、BASE UPまたはBASE DOWNを押し続けます。設定がオフになると、ビープ音が1回鳴ります。
  - **ソフトベースリミットの変更** - リミットを削除してから、リセットします。



## A-dec 511チェア回路基板

- SPARE - ジャンパーストレージの非アクティブポジション。
- FACT DEFAULT - チェアのプリセットを初期設定に戻します。
- BACK UP - チェアの背もたれを上げます。
- BACK DN - チェアの背もたれを下げます。
- BASE UP - チェアのベースを上げます。
- BASE DN - チェアのベースを下げます。
- PROGRAM - チェアのポジションをプログラムするには、チェアのポジションを設定してジャンパーをこのポジションに配置します。ピープ音が1回鳴るので、PRGMポジションのいずれかにジャンパーを設置します。ポジションが設定されるとピープ音が3回鳴ります。
- PRGM 0 - チェアのポジションを0にプリセットします。通常は治療の開始と終了時に使用します。
- PRGM 1 - チェアのポジションを1にプリセットします。通常は仰臥位にするために使用します。
- PRGM 2 - チェアのポジションを2にプリセットします。通常は仰臥位にするために使用します。
- PRGM 3 - チェアのポジションを3にプリセットします。通常は背もたれをX線/洗浄ポジションに動かすときに使用します。ジャンパーを取り外して交換し、チェアを元の位置に戻します。
- EN/DIS TP/FS - 注: このポジションは、2005年6月より前に製造された基板では機能しません。このポジションは、プログラムとプリセットのタッチパッドまたはフットスイッチ用ボタンをオン/オフにしたリ、ソフトベースリミットを管理したりするために使用します。
  - オン/オフボタン - ジャンパーをこのポジションに配置し、タッチパッドまたはフットスイッチ用ボタンを押し続けてオン/オフにします。ボタンがオンになると、ピープ音が3回鳴ります。ボタンがオフになると、ピープ音が1回鳴ります。
  - ソフトベースリミットの設定 - チェアのポジションを設定し、ジャンパーをこのポジションに配置して、ピープ音が3回鳴るまでBASE UPまたはBASE DNを押し続けます。
  - ソフトベースリミットの削除 - ジャンパーをこのポジションに配置して、BASE UPまたはBASE DNを押し続けます。設定がオフになると、ピープ音が1回鳴ります。
  - ソフトベースリミットの変更 - リミットを削除してから、リセットします。

